

# まだらの風



令和7年1月9日  
学校便り No.18  
校長 原口 真

『 見つけよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、高めよう馬渡の力 』  
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

新年あけましておめでとうございます。3学期始業式の早朝から、育友会生活部の皆様には挨拶運動に参加していただきありがとうございました。おかげ様で子どもたちも「おはようございます！」と元気に挨拶して行きました。トップくん、チップくんの2匹も参加し、にぎやかなスタートとなりました。よい1年になることを心から願います。

## 3学期が始まりました～柔軟さと変化、成長の年に

1月8日、3学期の始業式を行いました。お正月は家族そろってふるさとで過ごした子どもたちが多かったようです。一方、お正月の報道では1年前の能登震災からの復興についてのニュースが多く見られました。あたり前の日々を過ごせることに感謝の気持ちをもつことの大切さを感じてもらいたいと思います。校長講話として、今年の干支である「巳」について話をしました。へびはによろとした独特の動きから「柔軟さ」を、また、脱皮を繰り返して成長することから「変化」「成長」を表すと言われます。困難なことがあっても柔軟に対応し、新しい自分へと成長をとげてもらいたいと思います。新年すぐに俳優の真田広之さんがゴールデングローブ賞で主演男優賞を獲得し、その受賞式で「自分自身であり続け、自分を信じ、決してあきらめないでください」とコメントされたことを紹介しました。真田さんは20年来の映画にかける夢をかなえるまでに様々な困難があったと思いますが、あきらめることなく挑戦を続けられました。馬渡小中学校が「みんなが夢を語れる」「自分らしさを見つける」「周りの人を大切にする」場所であってほしいと思います。生活の係の野口先生から、人間にある3つの「タイ」の話がありました。3つの「タイ」とは「認められタイ」「ほめられタイ」「お役にたちタイ」のことです。今年も子どもたちが、様々な出番で自分の役割をはたし、周りの方々から認められる場面がたくさんある学校づくりを進めたいと思います。



## ペットボトルキャップでポリオワクチンを～世界に目を向けて～

3学期始業式の中で、生徒会で取り組んだ「ペットボトルキャップを集めてポリオワクチンを送ろう」について活動報告がありました。ポリオとは脊髄性小児まひとも呼ばれ、これといった治療法はありません。深刻な後遺症のおそれもありますが、ワクチンで予防することができます。日本では根絶していますが、世界においてはまだ発症している国があります。馬渡小中学校では生徒会の呼びかけにより2,743個のペットボトルキャップを回収・寄付したことで、3人分のポリオワクチンとして役立てられます。わずかずつでもポリオ根絶を進める力に確実につながっています。この取り組みに対し感謝状もいただきましたので、校内に掲示しています。子どもたちの活動にご協力いただきありがとうございました。



## 小学校忘年会～令和6年を楽しくしめくりました～

前年のことになりますが、12月24日に小学校忘年会を行いました。聖母保育園からもご参加いただきにぎやかな会になりました。子どもたちが考えた企画で、1年間の振り返りとマツト運動発表によるオープニングセレモニー、ポーズあて、クイズ、一人一芸大会、プレゼント交換などさまざまな出し物が行われました。特に一人一芸大会ではそれぞれが日頃磨いた技(ルービックキューブ、こま回し、逆立ち、ダンス、漢字クイズ、九九暗唱、リフティング、楽器演奏等)が華麗に披露され、一人ひとりの大活躍に、子どもたち、職員、参観いただいた保護者様からの歓声にわきかえり、楽しい1年のしめくくりになりました。

